

学校教育目標	「よく学び なかよく遊ぶ 心も体もたくましい 三橋の子」 よく考える子(知) 心豊かな子(徳) たくましい子(体) かかわりを大切にできる子(コミュニケーション)
目指す学校像	学校・家庭・地域とのコミュニケーションをもとに、児童一人ひとりの学力や体力を向上させ、豊かな心を育むことができる学校

重点目標	1 授業力の向上と確かな学力の育成 2 豊かな心と健やかな体の育成 3 地域とともにある学校づくりの推進 4 安全指導と安全・安心な環境整備 5 教職員の資質向上と働き方改革
------	---

※重点目標は6つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

		学 校 自 己 評 価					学校運営協議会による評価		
		年 度 目 標			年 度 評 価			実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	(現状) ・市学習状況調査「学習内容の分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる」の肯定的回答割合は86.8%である。 ・学校評価「家庭学習に取り組む」の肯定的回答割合は児童78%、保護者66%である。 (課題) ・高学年児童は他学年と比べると図書館の利用頻度が低い傾向にある。市学習状況調査「読書は好きですか」との質問で、肯定的な回答割合は62.7%~83.9%と学年ごとに異なる。	学習者主体の学びの実現と確かな学力の育成	①ICT 機器を活用し、児童が自分の意見をまとめたり、分かりやすく伝えたりする学習を各教科で実施する。 ②学習状況調査結果を分析し、児童の実態把握や分析結果を活用した学習指導を展開する。(通年)	・学びの指標でICTの項目が昨年度を超える(R7:3.12) ・保護者の学校評価「勉強が身に付く」の肯定的回答割合が前年度比+2pt (R7:78%)					
		児童の学びの自律化と家庭学習や読書の習慣化	③年間を通じて家庭学習を実施する。(通年) ④朝読書や図書ボランティアによる読み聞かせ等を実施する。(朝読書:週1回 図書ボランティアによる読み聞かせ:年間3回以上)	・児童の学校評価「家庭でも進んで学習や読書をする」で肯定的回答割合が昨年度より2pt向上。(R7:78%) ・全国学力・学習状況調査「1日の読書時間平均30分以上」の割合が全国平均以上。					
2	(現状) ・所属学級での学習、生活に不安を感じる児童のためにSolaの一むを利用し、学校内で安心できる場所の確保に努めている。 ・年間を通して児童会を中心とした異学年交流を行っている。 ・学校評価「思いやりの心が育っている」について、保護者の肯定的回答割合は92%である。 (課題) ・児童同士のトラブルは昨年度複数発生しており、心のすれ違いやコミュニケーション力不足に起因する事案が多い傾向にある。	インクルーシブ教育にもつづいた「思いやりとやさしい心があふれる」学校の実現	①Solaの一む利用の約束等を再整理した上で、児童の状況に合わせて効果的に活用する。 ②共同・交流学習をより一層推進し、学校行事、異学年交流等を含め、障害のあるなしによらず子どもが同じ場で共に学ぶ。	・学校評価「思いやりの心が育っている」で保護者の肯定的回答割合が昨年度と同水準。(R7:92%)					
		いじめや児童の悩み事にかかる組織的な対応	③おはようメーターのライフログ等を活用し、児童の状況を的確に把握し、教職員間で情報共有すると共に、必要に応じ迅速、的確、丁寧な対応を組織的に行う。(通年)	・学校評価「教育相談体制の充実」で保護者の回答「そう思う」の割合が昨年度比+1pt (R7:33%)					
3	(現状) ・学校運営協議会を三橋中と合同で開催し、地域で子どもたちを育む体制を確立している。 ・市学習状況調査「地域の人たちは自分たちを見守り支えてくれている」に対する児童の肯定的回答割合は96.7%である。 ・学校評価「地域の行事に参加」に対する児童の肯定的回答割合は64%、 (課題) ・地域の教育力を借りることで、教育活動を一層充実させ、児童の地域への愛着を育む。	コミュニティ・スクールを推進し「地域に愛される学校」の実現	①三橋中学校と連携して学校運営協議会を実施するとともに、児童の参加を実現する。(年3回) ②授業参観や運動会など、地域、保護者の方に教育活動の様子を知っていただく機会を設定する。(通年)	・学校評価「情報発信」で保護者の回答「そう思う」の割合が昨年度と同水準(R7:54%)					
		地域の教育力を活かした教育活動の充実	③児童と地域住民とのつながりを深めるため、三橋公民館との連携事業を実施する。(5回以上) ④交通安全教室等の教育活動で地域、保護者の方を対象に学習ボランティアを募る。(通年)	・学校評価「地域の方への感謝」で児童の肯定的な回答割合が昨年度と同水準(R7:95%)					
4	(現状) ・校舎のリフレッシュ工事により、児童が一層学習、生活しやすい環境が整備されている。 ・学校評価「校内美化」に関する保護者の肯定的回答割合は93%だった。 (課題) ・今日的な事件・事故事案を踏まえ、自然災害や不審者などへの対応力を高める。	安全・安心な教育環境の整美	①毎月、安全点検を確認するとともに、適切な修繕、環境整美を計画的に進める。(通年) ②予算を計画的に執行するとともに、適切に備品を管理する。(通年)	・保護者の学校評価「校内の美化」で「そう思う」の回答割合が前年度比+2pt (R7:36%) ・学校予算の執行率99%以上 (R7:98%)					
		有事の際の傷病者対応力の向上	③より実践的な傷病者対応訓練(体育活動時等)を実施する。また、様々な自然災害に対応した避難訓練、不審者対応訓練を実施する。(通年)	・学校評価「事件・事故防止」で保護者の肯定的な回答割合が昨年度と同水準(R7:94%)					
5	(現状) ・児童の主体的な学習を促す授業改善をテーマに、学校全体で研修を行っている。 ・高学年の教科担任制を実施している。 (課題) ・学校課題研究を充実させ、教職員の資質向上をさらに図っていく必要がある。 ・時間外勤務の縮減に取り組み、教職員が健康で働きがいのある職場環境づくりを図る。	教員の授業力と資質能力の向上	①計画的に校内研修を実施する。(年間30回以上) ②服務規律と教職員事故防止のため、服務研修を実施し、危機管理意識の向上を図る。(各学期1回)	・児童の学校評価「学校の授業が楽しい」で肯定的回答割合が前年度と同水準(R6:92.7%)					
		教職員がやりがいを持ち、健康で能力を発揮できる環境づくり	③ベテラン教員と経験の浅い教員を組み合わせた人事配置や自主勉強会により、日常的にOJTを実施する。(通年)	・人事異動調査の職務についての満足度が前年度比+5pt (R7:60%) ・時間外在校等時間の月平均が27.5h (R7:28.0h)					

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心のサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組